

平成29年度 読書活動年間指導計画

海田町立海田南小学校

1 学校教育目標

「夢と志を語り 自ら伸びる 海田南っ子」

2 読書活動推進のための目標

- 読書習慣を身に付けさせ、主体的に本を読み、情操豊かな子どもを育成する。

3 各学年の目標

学年	目標	読書活動における付きたい力
1・2 年	楽しんで読書しようとする態度を育てる。	易しい読み物に興味をもち、読むことができる。 自分で好きな本を選んで読むことができる。
3・4 年	幅広く読書しようとする態度を育てる。	いろいろな読み物に興味をもち、読むことができる。 調べるための本を探して、活用することができる。
5・6 年	読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。	必要な図書資料を選んで、読むことができる。 図鑑や事典を利用して、必要な情報を読むことができる。

4 具体的な取組

(1) 読書習慣の定着を図る。

①読書タイムを充実させる。

- ・月・水・木・金曜の8時15分～8時25分に行う。
- ・事前に本を選んでおき、時間内は立ち歩かず、しゃべらない。
- ・低学年においては、実態に応じて読み聞かせなどを取り入れながら、読書タイムを進める。

②家族との読書活動を推進する。(夏休み中に具体案を配布)

③読み聞かせを推進する。

- ・読み聞かせボランティアと連携し、学級での読み聞かせを行う。
PTA 読み聞かせボランティア・・・1・2年生(実施日は別紙配布)
町のお話し会・・・3～6年生 年に1回 1時間

④読書強化週間を設ける。(11月13日～11月17日)

- ・図書委員会を中心に計画し実施する。
- ・「図書祭り」を実施し、児童相互に読書を奨励しあう。
- ・ペア学年での読み聞かせを行う。(夏休み中に具体案を配布)
6年→1年 5年→3年 4年→2年 3年→5年 2年→4年 1年→6年
担任は、実施の日までに、本の選択や読み聞かせの仕方等の指導を行っておく。

⑤図書の貸し出しを積極的に行う。

- ・図書委員会は大休憩・昼休憩の1日2回の貸し出しを行う。
- ・学校司書と連携し、各教科や特別活動などでも学校図書館を活用する。
- ・個人貸出以外に、学級貸出を推進し、各教科の学習と関連させながら幅広い読書を推進する。
- ・担任は一ヵ月ごとに、学級の児童がどのくらい課題図書を読めているか把握する。

⑤学年ごとの課題図書を設定し、学年に応じた読書ができるようにする。

- ・課題図書は次のページに載っている本とする。
1年生…新しい国語下 p.26～29 2年生…新しい国語上 p.96～99
3年生…新しい国語上 p.92～94 4年生…新しい国語上 p.86～89
5年生…新しい国語上 p.88～91 6年生…新しい国語上 p.82～85

- ・担任は一ヵ月ごとに、学級の児童がどのくらい課題図書を読めているか把握し、読書の奨励に生かす。
- ・課題図書35冊を達成した児童を表彰する。

- (2) 読書環境の充実を図る。
- ①図書室の環境整備を行う。
 - ②必要に応じた本の購入を積極的に行う。
 - ③効果的な掲示物の作成をする。
 - ④図書だよりを発行する。
 - ⑤必要に応じて公立図書館との連携をする。
 - ⑥学級文庫を定期的に学級間で入れ替える。

5 学校図書館活用年間指導計画

	言語活動充実の 取組	朝読書の 取組	家庭の取 組	図書委員会の取組	子ども司書 の取組	図書担当職員		
4	各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間における学校図書館の積極的な活用	読書タイム（月・水・木・金）における十分間の全校読書	親子読書	年間活動計画作成 常時活動開始		図書館利用指導 子ども読書の日		
5						購入図書計画 課題図書購入		
6					課題図書の紹介 （図書だより掲載）	子ども司書の決定 事前研修	購入図書紹介	
7					しおり作り	海田町での 実地研修 （3日間）	青少年読書感想文コンクール募集要項配布 夏休みの読書案内	
8							図書館整備	
9						購入図書紹介 （図書だより掲載）		町内読書感想文コンクール募集
10						図書祭りの準備	放送による 読み聞かせ	読書週間指導
11						図書祭り	ブックトーク	古典の日
12								冬休みの読書案内
1								
2							活動報告 「子ども司書」認定証授与式	
3								蔵書点検

6 その他

- ・学級文庫は、担当が不要な本を処分し、整理する。